

予算審査特別委員会

委員長 近藤 千鶴子

副委員長 阿部 智

令和2年度一般会計および特別会計などの予算議案18件を審査するため、2月27日に全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、5つの分科会などにおいて計7日間にわたり審査しました。

また、3月16日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。

◆分科会での主な質疑をご紹介します。

総務分科会

「あなたにお知らせサービス」の具体的な内容は

問 新規事業である「あなたにお知らせサービス」の具体的な内容について伺う。

答 あらかじめ市民に登録してもらい、乳幼児健診等23事業について、対象になるかを分析し、対象となる制度内容をSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)でプッシュ案内するサービスである。市民参加の実証実験の意見を踏まえ、健康診査や子育て支援関連手続を中心に事業を選定し、令和3年1月から開始する。

市制100周年に向けた取り組みについて

問 令和3年に市制100周年を迎えるが、プレ期間である令和2年はどのような取り組みを行うのか伺う。

答 市政の歩みを分かりやすく伝える記念漫画の制作や令和3年度に予定している「ちば・まち博」に向けた準備に取り組む。その他、100年間の歩みをデータで分析し、市民に分かりやすく伝える事業を予定している。



百の歴史を、千の未来へ

保健消防分科会

不妊・不育症※への助成制度について

問 市独自の助成制度の内容と医療機関に対する不育症の理解を促す取り組みについて伺う。

答 特定不妊治療費助成は、国の制度に加え、2回目以降の申請のうち、いずれか1回を治療の内容に応じて、15万円または10万円上乗せ助成する。不育症検査費助成は、保険適用外の検査費用の2分の1、上限10万円を助成する。今回、市独自の新制度となるため、不育症そのものの内容も含め、制度の理解と協力について医療機関に周知していく。

※不育症
妊娠をしても、流産、死産や早期新生児死亡(生後1週間以内の死亡)などを繰り返し、結果的に子どもを持つことができないこと

海浜病院で心臓血管外科を再開するメリットは

問 海浜病院において、心臓血管外科を再開する経営面などのメリットは。

答 この5年間で小児外科、泌尿器科、形成外科、感染症内科等を、令和元年度は救急科を設置してきた。令和2年度は心臓血管外科を再開することで、地域に求められる基幹病院として総合力を上げ、最終的に経営改善につなげていきたい。



海浜病院

環境経済分科会

(仮称)千葉公園体育館の整備について

問 体育館の整備による市民のメリットと利便性は。

答 老朽化の進んでいる3施設※を集約することにより、施設機能が更新される。駐車場は現行45台から300台に、観覧席は車いす席に加え、難聴者の聞こえを支援する設備(磁気ループ)の設置を行う。さらに、マンホールトイレ等の防災機能も整備する。また、モノレール千葉公園駅から徒歩5分に位置することになり、利便性が向上する。

※1面「令和2年度予算をピックアップ」の「都市づくり」参照



(仮称)千葉公園体育館イメージ図

森林等の安全対策について

問 令和元年9月の台風15号で暴風に対する脆弱性があらわになったが、これに対する令和2年度の森林等の安全対策は。

答 災害に強い森づくりとして重要インフラに近接した森林を全市で3ヘクタール伐採し、令和3年度以降に低木の植栽を予定している。また、被害を受けた森林のうち、0.3ヘクタールの倒木処理と、竹の全部伐採を年に2回3年間継続することで地下茎を枯死させる放置竹林伐採の実証実験を500㎡程度予定している。

教育未来分科会

児童相談所の夜間相談体制強化について

問 児童相談所の夜間電話相談は1日に何件あり、1件当たりどれほど時間をかけているか伺う。

答 17時半から翌朝8時45分の間を受け付ける夜間相談は、ばらつきはあるが、1日に3~4件で、1件当たりの相談時間は、1時間程度かかるものもある。一時保護所職員が対応する時間帯があるため、今回夜間電話相談員を1名増やすことで、専門の職員が対応できるようにし、相談体制を手厚くする。

防犯カメラ設置の効果は

問 学校への防犯カメラ設置の効果と、これまでにその映像を警察に提供した例はあるか伺う。

答 設置した学校では、設置前は学校敷地内への侵入が、年平均1校当たり6.1件あったが、設置後には1.2件へと約8割減少しており、学校の安全が強化されたと考えている。提供事例は本年度を含めた直近3年間の実績で6件ある。いずれも市の要綱に基づき、刑事訴訟法に規定する各警察署長が発行する「捜査関係事項照会書」による要請を受けた場合にのみ提供している。



防犯カメラ設置の様子

都市建設分科会

動物公園でのICTを活用した取り組みは

問 ICTを活用した集客力を向上する具体的な取り組みについて伺う。

答 スマートグラス※を導入し、飼育員に装着させることで、至近距離からの動物解説等を可能にすることや、デジタルサイネージ※を導入し、スマートグラスの映像を含めた多面的な情報を配信していく。また、公式アプリを導入し、会員限定コンテンツ等で、来園を促進していく。さらに、獣舎に監視カメラを設置し、その映像をコンテンツ化することにより、新しい価値を創造していきたい。



スマートグラスを装着した給餌

※スマートグラス
マイク、スピーカー、カメラなどが付いたメガネのような形状の身につけて使えるコンピュータ

※デジタルサイネージ
屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディア

未就学児の交通安全対策は

問 整備対象箇所数と整備の内容、またいつまでに対策を行うのか伺う。

答 保育所等から要望のあった480か所について、保育施設の職員や交通管理者と合同点検を行い、その結果、道路管理者が325か所の安全対策を行うこととした。具体的には、車止め、ガードパイプ、注意喚起の路面標示、路肩のカラー化などの対策を令和2年度早期に完成させる。